

葦毛湿原早朝“感”察会

～初夏の風と野鳥のコーラス～

2010年6月5日(日) 7:30～10:00



NPO法人

東三河自然観察会

今朝の葦毛

天候：○ (雲量)
気圧： hPa
気温： °C
水温：長尾池→ °C
沢の水→ °C



♪ピッコロクイル、
ピッコロクイル ♪



キビタキ オス

① 葦毛湿原の今・昔

自然は、時間の流れの中で少しずつ変化していきます。

変化の要因は

☆人が関わることのない変化 ⇒ 遷移(せんい)

☆人が関わることによる変化

⇒ 開発、踏み込み、盗掘、植え込み、動物に付着し移入等々

☆葦毛湿原はどのような要因で変化しているかな。

- ・湿原を取り巻く山の樹木の成長にともなう
- ・流入水の減少⇒乾燥化⇒コシダ、イヌツゲ等の増加⇒湿原の狭小化
- ・樹木の成長等による生育環境の変化により⇒植生の変化
- ・湿原訪問者の増加により

踏み込み、盗掘、種子が付着して入りこむ

★ この写真はいつ頃撮影されたのでしょうか？ … () 頃の葦毛



↑ 湿原入口広場のケルン



↑ 湿原の西部より東側を望む

② 初夏を彩る茸毛の植物 茸毛の森に住む精霊



エンシュウムヨウラン

ムヨウラン類は、森の命の結晶と呼んでもいい植物たち。

その森の木々が落とした葉によって育まれた腐葉土に、その森ならではの菌類が育つ。

その菌類に依存して、ひっそりとたたずむ森の精霊。

この森から離れることができない命。

梅雨時の茸毛湿原を彩る花々

梅雨の合間の日の光を浴びて咲く花々。

いくつ見つかるかな。

トキシウ

モウセンゴケ

クロミノニシゴリ

タチシオデ

イボタ

ウメモドキ

イヌツゲ

③ 葦毛湿原周辺で見られる昆虫

- ・ 若葉を食草とする蝶や蛾の幼虫を探してみよう！



- ・ 花の蜜や花粉に集まる昆虫達を探してみよう！



- ・ 水辺の回りの昆虫、明るい場所の昆虫、暗い場所を好む昆虫などを探してみよう

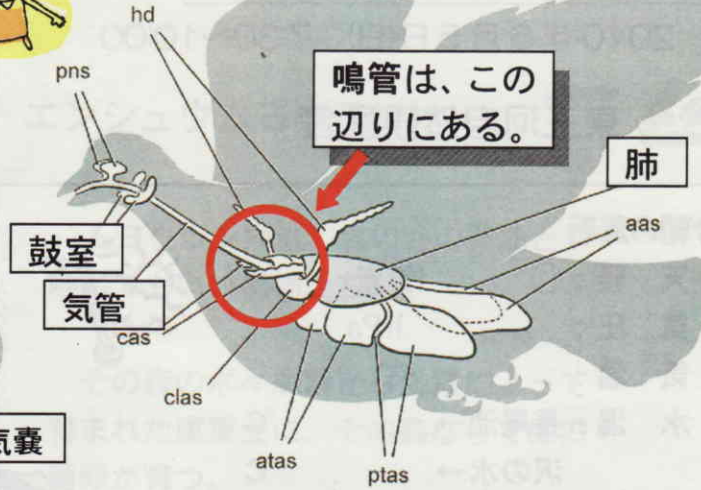
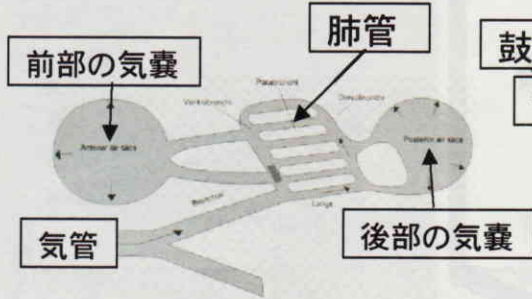


④ 野鳥のコーラス

ヒトは、声帯 で声を出す。



では、鳥はどうやって鳴くの？
鳴管 と 気嚢 が決め手！



参考資料：Wikipedia

『聞きなし』 … ♪鳥の鳴き声が『○○○○○』と聞こえる。
ウグイス ♪



オオルリ ♪

↑オオルリ (オス若鳥)

サンコウチョウ ♪



↑サンコウチョウ (オス)

() ♪
() ♪

MEMO